



Photo: 1/1000

# きれいは元気

福岡市立 博多小学校、京良屋公民館、京良屋幼稚園

美しく快適な住まいのインテリアは、様々登録誌で紹介され存在している。

ところが、子供達の大切な居場所である、「学校のインテリア」はいまだ30年近く時計が止まつた状態である。

量産化した時代の学校建築の弊害が現れ化の問題になっている。今、子供達のインテリアに純やかな工夫が必要とされている。そして、想性が詰め込まれる子供の時期に出会う学校のインテリアは、生涯に渡って大きな影響を及ぼすものであり、成長期の体に合った豊かな空間は君が人生を開拓してくれる。

スケールの異なる子供達を受け入れる学校のインテリアは、大変な努力とその力量が問われる。

大きな学校建築が、住居のよう仕組みやから所心地を持った空間になるためには、もっともっとインテリアの専門家が参加してほしいと願っている。きれいは元気を生み出してくれるから。

西日本の大都市の一つである福岡市の中でも、近年児童人口の減少率は驚異的な割合で減少傾向になっている。

この特集では、児童の減少による問題を抱えている。

児童の減少による問題を抱えている。



Photo: 1/700

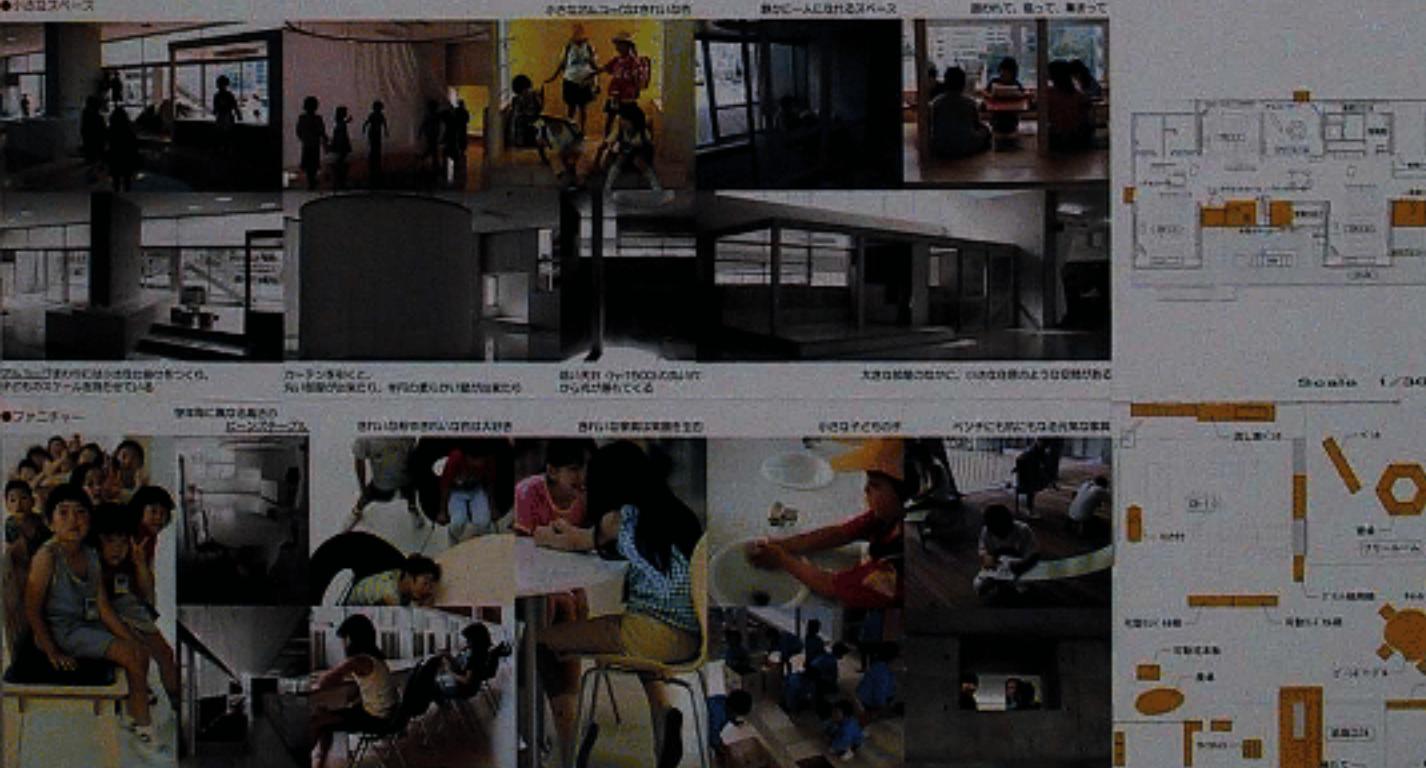


Photo: 1/300



Photo: 1/100